

はまぐち おさち

濱口雄幸 [1870-1931] 1888(明治21)年卒

第27代内閣総理大臣。東京帝大卒。衆議院議員に6回当選し、財政通の政治家として蔵相・内相を歴任後、立憲民政党総裁として1929(昭和4)年首相に就任。風貌と篤実な人柄から「ライオン宰相」と呼ばれた。追手前高校の「レオプロジェクト」はその愛称にちなむ。本校校長室には濱口の直筆による「質実剛健」の書が今でも掲げられている。



もりした うそん

森下雨村 [1890-1965] 1907(明治40)年卒

本名・森下岩太郎。編集者、翻訳家、小説家。早稲田大卒。大正時代の人気雑誌『新青年』編集長として内外の推理小説を紹介しながら自らも創作を行った。江戸川乱歩をはじめとする数多くの推理小説作家を世に送り出し、その業績を評して横溝正史は「日本の推理小説の生みの親」と讃えている。



たけだ ごいち

武田五一 [1872-1938] 1891(明治24)年卒

建築家。東京帝大卒。欧州留学の影響を織り込んだ和洋折衷のデザインで当時の建築界に新風を吹き込む一方、平等院や金閣の保存など歴史的事業にも携わった。京都工芸高等学校(現・京都工芸繊維大)や京都帝大などの教授を歴任、「関西建築界の父」と言われる。追手前高校本館は武田の監修によって設計された帝冠様式の建築である。



よこ やまりゅういち

横山隆一 [1909-2001] 1927(昭和2)年卒

漫画家。政治風刺漫画が主流であった1930年代の日本漫画界においてナンセンス漫画グループ「新漫画派集団」を杉浦幸雄や近藤日出造らと結成、戦中・戦後初期の漫画界をリードした。代表作『フクちゃん』による第1回児童文化賞のほか受賞多数。漫画家として日本初の文化功労者となったことでも知られている。



もり た まさたけ

森田正馬 [1874-1938] 1895(明治28)年卒

慈恵会医専(現・東京慈恵会医科大学)教授。医学博士。東京帝大卒。自宅を開放して始めた神経質療法「森田療法」で打ち立てた独自の学説と治療体系は欧米など海外にも大きな影響を与えた。現在でも国際森田療法学会などで研究され続け「西のフロイト、東の森田」と評される。1990(平成2)年にはその業績を記念して森田正馬賞が創設された。



やなせたかし [1919-2013] 1936(昭和11)年卒

本名・柳瀬嵩。漫画家、絵本作家、詩人。東京高等工芸学校(現・千葉大学工学部)卒。言わずと知れた「アンパンマン」作者にして追手前高校イメージキャラクター「追手前^{〇〇}くん」『銀杏のギンコちゃん』生みの親。日本漫画家協会大賞など受賞多数。勲四等瑞宝章受章。長らく日本漫画家協会理事長。



てらだ とらひこ

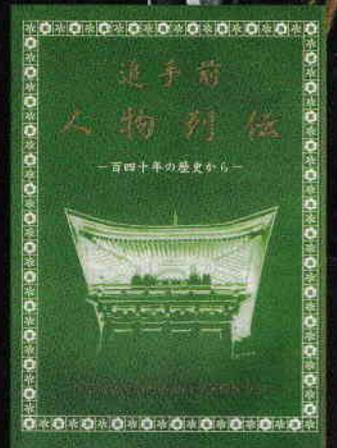
寺田寅彦 [1878-1935] 1896(明治29)年卒

物理学者、随筆家、東京帝大教授。東京帝大卒。地球物理学・地震学・気象学など多彩な研究に従事しながら文才にも優れ、多くの随筆を著した。終生師事した夏目漱石の小説「三四郎」や「吾輩は猫である」には寅彦がモデルと言われる人物(いずれも科学者)が登場する。「天災は忘れたころにやってくる」の有名な格言を残した。



よりぬき追手前人物列伝

毎年新生生にオリエンテーションで配布される「追手前人物列伝」。その名の通り追手前高校が長い歴史の中で各界に輩出してきた人物についてまとめたもので、「校友」と呼ばれる卒業生で構成される「高知追手前高校校友会」が発行しています。ここでは創立140周年版の人物列伝(2018年発行)に登場する大先輩を中心に、本校の著名な卒業生について紹介します(ほんのひと握りでごめんなさい!)



創立140周年版「人物列伝」には濱口雄幸や寺田寅彦をはじめとする63人の評伝が掲載されています。